

令和 8 年度授業改善推進プラン評価（成果と課題）表

文京区立明化小学校

【第 6 学年】

	成果	課題
国 語	・ 1 学期の知識・技能の到達度は 81%であった。課題の解決に向けて粘り強く取り組む姿勢が見られ、基礎的な知識・技能は概ね身に付いている。	・ 目的に応じて文章を要約したり、自分の考えを根拠を明確にして書いたりすることに課題が見られた。ICT を活用して自分の考えを可視化・共有する活動を継続し、要約する力や自分の考えを論理的に表現する力の育成を図る。
社 会	・ 1 学期の知識・技能の到達度は 87%であった。学習内容に関する基礎的な知識は概ね身に付いており、教科書を読みながら必要な資料を選択してまとめる学習にも意欲的に取り組むことができた。	・ 資料の選択に時間がかかることや、読み取った内容を自分の言葉で簡潔にまとめることに課題が見られた。資料を適切に選択し、要点を整理してまとめる活動を継続的にしていく。
算 数	・ 1 学期のワークテストの到達度は 84%であった。授業では、応用問題に取り組む機会を設けるとともに、計算の習熟を継続的に図ったことで、計算を速く正確に行う力が向上した。	・ 文章問題の立式や算数の用語を用いた説明、問題文を正確に読み取ることにより課題が見られた。問題文の読み取りを丁寧に行う活動や、算数の用語を用いて説明し合う活動を充実させ、思考力・判断力・表現力の向上を図る。
理 科	・ 思考・判断・表現の到達度は 86%であった。実験では、実験器具を丁寧に扱い、安全に留意しながら見通しをもって活動することができた。	・ 役割分担に偏りが見られ、グループで協働して学習を進めることに課題があった。役割を明確にした協働的な実験活動を取り入れ、互いに協力しながら全体の学びを深める力を育成する。
音 楽	・ 器楽については、基礎・基本となる技能が身に付き、思いや意図をもって表現できた児童が多くいた。音を合わせながら、互いに高め合う姿が多く見られた。 ・ 歌唱では、重なりを生かして歌う学習にすすんで取り組む姿が	・ 音楽づくりでは、仕組みを捉えたり、考えを生かしたりする際、児童によって理解の差が見られた。また、楽譜に表す際には、音符や休符に対する知識や理解に大きな課題があった。音楽づくりでの手だての見直しを行う。また、音符や休符、記号について

	多く見られた。	は、器楽や歌唱を通して毎時間の積み重ねを行い、各学年での指導を見直していく必要がある。 歌唱に関しては、思いや意図をもち、それが表現できるための技能の向上を目指す。
図画工作	・1学期は、造形的な見方・考え方を働かせながら、自分の表現したいことや伝えたい思いを明確にし、主体的に発想や構想を深めて製作に取り組むことができた。材料や用具の特性を理解し、表現の意図に応じて適切に選択・活用する姿が見られ、創意工夫を生かした個性豊かな作品が多く生まれた。また、鑑賞活動では、作品のよさや美しさだけでなく、作者の意図や表現の効果についても考え、自分の考えについて根拠をもって伝え合うことができた。表現と鑑賞の双方を通して、豊かな感性と創造的な表現力を高めることができた。	・自分の思いや表現する力は育ってきているが、表現の目的や意図に応じて、より効果的な表し方を追求しながら構想を深める力には個人差が見られた。また、製作過程で試行錯誤を重ね、作品を客観的に見直して改善していく力をさらに伸ばしていく必要がある。今後は、多様な表現方法や美術作品に触れる機会を充実させるとともに、対話的な鑑賞活動を通して多様な価値観に触れ、自らの表現をより豊かで深いものへと高められるように指導する。
体 育	・自分の技能に合わせた課題や学習の場を選択して、主体的に運動に取り組む姿勢が見られた。 ・学習カードを活用し、自己の課題や学習の成果を振り返ることで、次の学習に生かすことができていた。	・基礎的な運動能力に課題が見られる児童が多い。運動量を十分に確保するとともに、技能向上のポイントを明確に示し、児童同士が学び合う場を継続的に設定することで、基礎的な運動技能の向上を図る。
家庭科	・問題点や改善点を記述する学習活動やテスト問題を取り入れるなど、評価方法の改善を図った。課題意識が高まり、実習では、活動の見通しをもちながら主体的に取り組む児童が増え、主体性の向上が見られた。	・技能面では経験の差による習熟の偏りが見られ、技能の高い児童が先に進める場面もあった。互いに教え合い、学び合う活動を取り入れ、協働的に学ぶ姿勢の育成を通して、技能の向上を図る。
外国語	・知識・技能の到達度は100%に近かった。基礎的な知識・技能が十分に身に付いている。	・英語で積極的にコミュニケーションを図る姿勢には個人差が見られ、英語で文章を書くことに苦手意識のある児童もいる。ペアやグループでの対話を充実させるとともに、短い文章を書く活動を継続的に取り入れ、表現力の向上を図る。